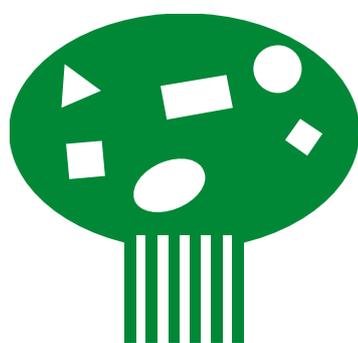




登録番号 0002758

2015年度 環境活動レポート

(2014年12月～2015年11月)



阪南産業株式会社

2016年 2月20日発行

ごあいさつ

現在、異常気象などのさまざまな『地球温暖化』が深刻になってきています。これは私たちが便利さだけを追求してきたことが原因のひとつだと思います。

それぞれが『今』できることをして、これから先『地球温暖化』の問題を先延ばしにしないことが大切です。

一人一人が行動を振り返り、反省をして改善していくことで自身の成長に繋がっていくと思います。

2014年12月

代表取締役社長 高好 章二

環 境 方 針

阪南産業株式会社

阪南産業株式会社は、昭和34年の創業以来、「木材資源のリサイクルを迫及する」を企業理念の柱に据え、木材チップ製造を一貫して事業の中心としてまいりました。現在、環境意識の高揚にともなってリサイクルの重要性はますます大きくなり、時代はまさに、私どもの予想をはるかに越えるスピードでリサイクル企業の存在価値を高めてきたと言えます。限りある資源の有効利用により、地球環境保全に貢献するために、これからも私たちの役割は、各方面から一層期待されるはずで。その為に、より一層の創意工夫によって、より高い環境保全目標に向かって取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ②収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減
- ③事務所からの一般廃棄物の削減
- ④水道水の使用量削減
- ⑤コピー用紙の削減
- ⑥環境配慮製品の販売促進
- ⑦グリーン購入の促進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

- 2. 受託した産業廃棄物（木くず）の再資源化率99%以上を維持します。
- 3. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。
- 4. この環境方針を全従業員に周知させます。
- 5. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2007年12月1日

改定日：2012年12月1日

代表取締役社長

高好 章二

登録事業所の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
阪南産業株式会社
代表取締役 高好 章二
- (2) 対象事業所所在地（全社）
（本社・第2工場）
〒559-0026 大阪市住之江区平林北2丁目8番23号
- ※（事務所）
大阪市住之江区平林北2丁目7番78・81号
（第3工場）
大阪市住之江区平林北2丁目9番134号
（第4工場）
大阪市住之江区平林北2丁目7番40号
（第1工場）
大阪市住之江区平林南2丁目6番72号

※上記の事務所とは、以前に第2工場内にあった本社を、業務拡大に伴い対面の場所に移したが、登記上は未だ第2工場内にあるので、移設した本社を事務所としている

- (3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者 専務取締役 高好健二 TEL：06-6685-7196
- (4) 事業内容（認証・登録の範囲：太陽光発電所（無人）を除く 全組織・全活動）
- ・木材チップの製造及び販売
 - ・産業廃棄物（木くず）の中間処理業 【2012年9月 優良認定】
 - ・産業廃棄物の収集運搬業（積替え・保管を含む）【2012年9月 優良認定】
 - ・太陽光発電設備
（淡路太陽光発電所 290kw 2013年11月設置）
- (5) 事業の規模
- | | |
|----------|---------------------|
| 売上高 | 12億4千5百万円(2015年度) |
| 従業員 | 42名 |
| 延べ床面積 | 6161 m ² |
| 収集運搬車両台数 | 8 t 平ボディ車 1台 |
| | 6 t 平ボディ車 1台 |
| | 4 t 平ボディ車 3台 |
| | 4 t ダンプ（ロールオン） 3台 |
- (6) 法人設立年月日 1968年11月1日
- (7) 資本金 5,000万円
- (8) 許可の内容
- 処分業（第2・3工場）
- ・許可番号 第6620008387号
 - ・許可年月日 平成24年9月5日
 - ・許可の有効年月日 平成31年6月30日
 - ・事業の区分： 中間処理
 - ・産業廃棄物の種類
1. 木くず
石綿含有産業廃棄物を除く 以上1種類

■収集運搬業{積替え保管を含む} (第4工場・第2工場の一部)

- ・ 許可番号 第 6610008387 号
- ・ 許可年月日 平成 24 年 9 月 5 日
- ・ 許可の有効年月日 平成 31 年 6 月 30 日
- ・ 事業の区分： 積替え・保管を含まない 1、がれき類
積替え・保管を含む 1、廃プラスチック類 2、紙くず 3、木くず
4、繊維くず 5、ゴムくず 6、金属くず 7、ガラスくず

収集運搬許可一覧

許可先 許可番号	産業廃棄物の種類	許可年月日 許可有効期限
大阪市 6610008387	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず がれき類	H24. 9. 5 H31. 6.30
大阪府 2700008387	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず がれき類	H22. 7. 1 H29. 6.30
京都府 2600008387	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず	H27.10.2 H34. 7.15
兵庫県 2803008387	廃プラスチック類 木くず ゴムくず 金属くず ガラスく ず	H24. 9.17 H31. 9.16
奈良県 2900008387	廃プラスチック類 木くず ゴムくず 金属くず ガラスく ず	H24. 8.19 H31. 8.18
滋賀県 2501008387	廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず ゴムくず 金属くず ガラスくず	H24.12.10 H31.11.17
和歌山県 3000008387	木くず	H22.12.13 H29.11.20

(9) 施設等の状況

■処分業 (第2・3工場)

1. 施設の種類：①②③破砕施設
2. 設置場所：大阪市住之江区平林北2-8-23 ①② (第2工場内)
大阪市住之江区平林北2-9-134 ③ (第3工場内)
3. 処理能力：①132 t/日 ②79 t/日 ③160 t/日
4. 最大保管数量 (合計) 5,194 t

■収集運搬業 (第4工場・第2工場の一部)

- ・ 所在地：①大阪市住之江区平林北2丁目7番40号
②大阪市住之江区平林北2丁目7番78・81号
- ・ 面積：①321 m² ②400 m²
- ・ 保管上限：①459 m³ ②329 m³
- ・ 積み上げ高さ：①2.8m ②2m
- ・ 産業廃棄物の種類：①廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、
金属くず、ガラスくず
②木くず

■木材チップ製造業 (第1工場)

- ・ 所在地：大阪市住之江区平林南2丁目6番72号
この第1工場では産業廃棄物は扱わない。
(原材料を購入し、製品を販売)

■太陽光発電（売電事業）

所在地 兵庫県淡路市江井字ナギ 1902-19 他 淡路江井太陽光発電所

敷地面積 5360 m²

設置年月日 平成 25 年 11 月 30 日

発電能力 290KW

2015 年度：実績 319,496 kwh

（※2015年度全社の年間電力使用量の18.6%に相当）

(10) 処理実績

処理方法等	処分方法等		処理量t	
収集運搬	木くず(引取り)		20000	
収集運搬量合計			20,000	
中間処理	木くず	(破碎)	83,834	
	(持込み+引取り)			
うち再資源化等	木くず	製紙・建築ボード原料等として販売	82,969	
	鉄くず	有価物販売	865	
	再資源化等量小計		83,834	
	中間処理合計		83,834	
最終処分				
最終処分量合計			0	
中間処理後の 産業廃棄物	最終処分			
	木くず	製紙・建築ボード原料等として販売	82,969	
	再資源化	鉄くず	有価物販売	865
	等	残渣物(木くず非鉄混合)	【委託】	0
		再資源化等量小計	83,834	
中間処理後処分量合計			83,834	

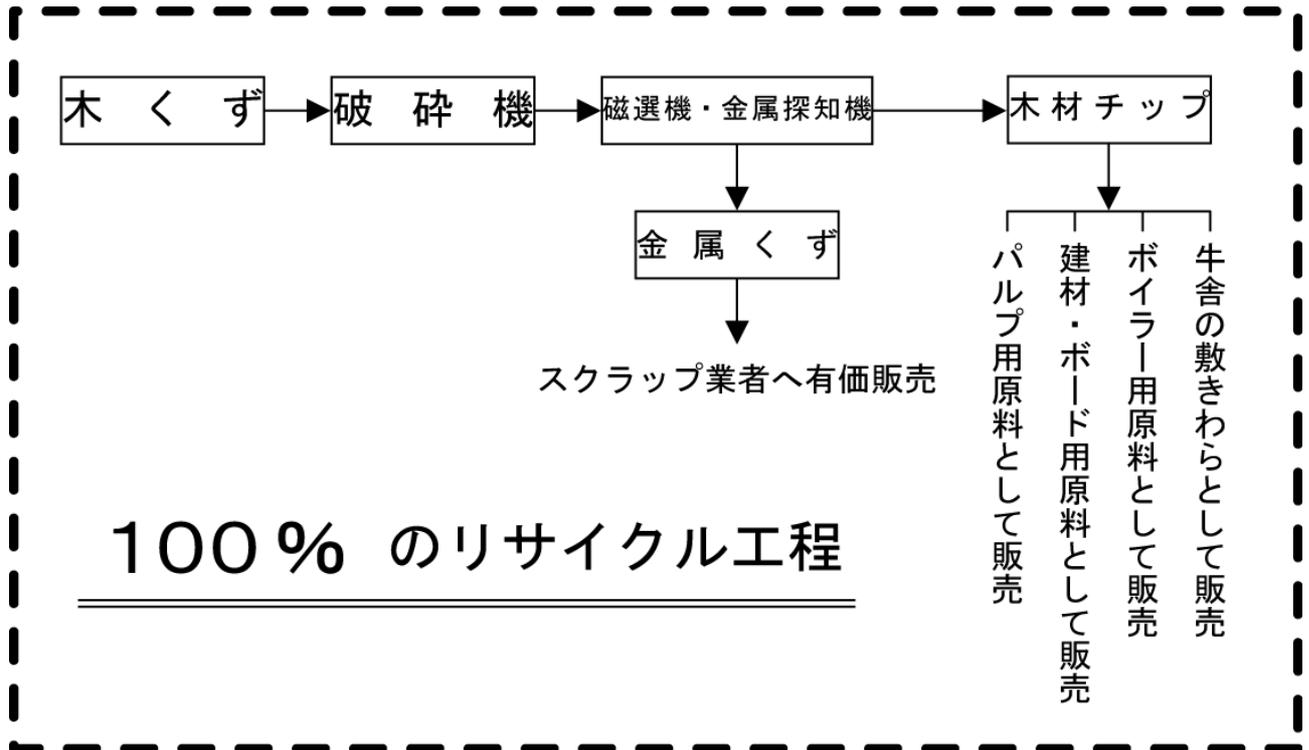
■処分業 木くず 83,834トン (H27年度実績)

■収集運搬業 木くず 20,000トン (H27年度実績)

その他の産業廃棄物の収集運搬は実績ゼロ

(11)処理工程

木くずのほぼ100%リサイクル



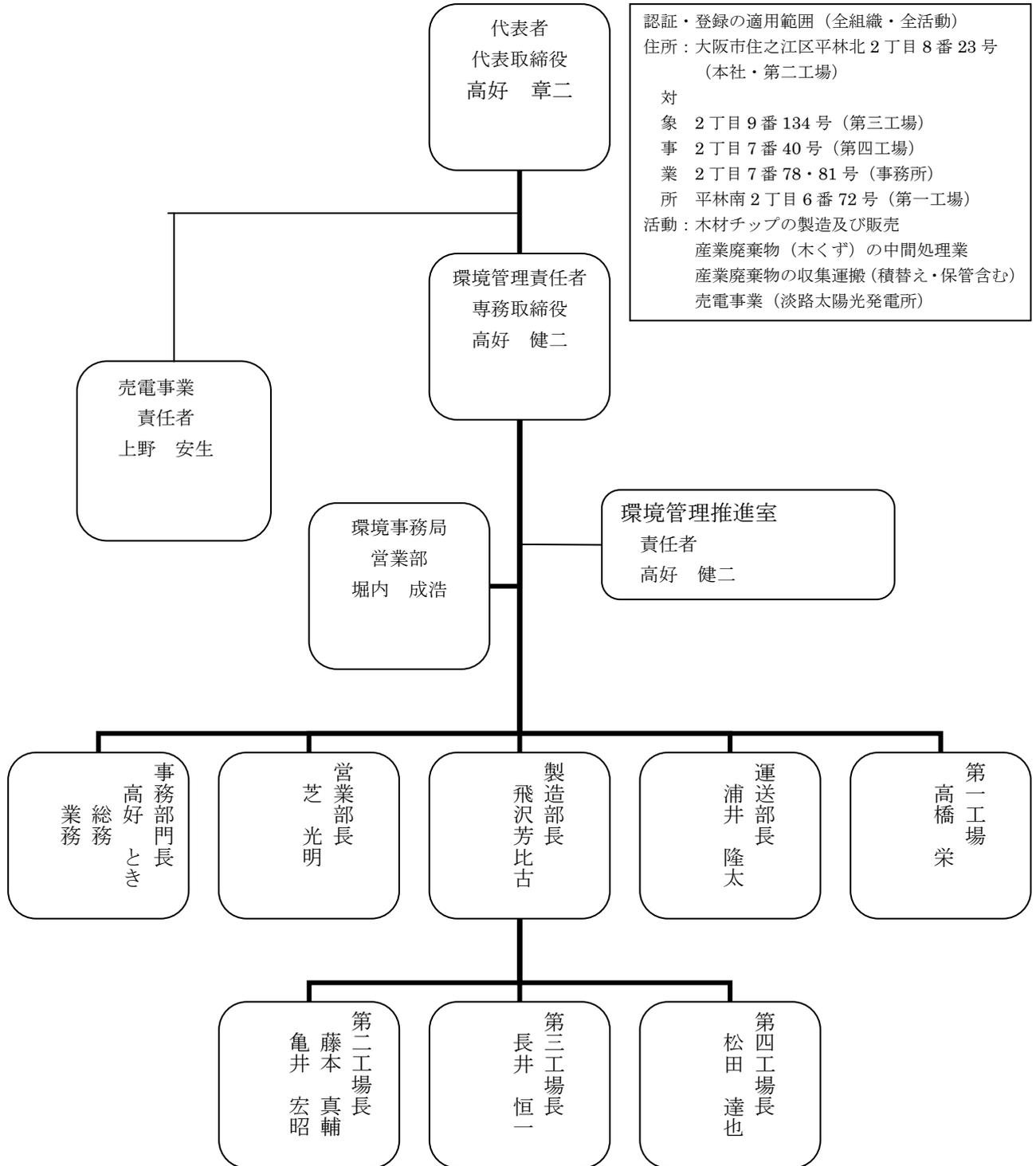
(12) 廃棄物処理料金

処理料金につきましては種類、量、により計算いたします。弊社営業(TEL06-6685-7196)までご相談ください。無料にてお見積もりいたします。

(13) 所属する主要団体

- ① 社団法人 大阪府産業廃棄物協会
- ② 平林会 (地域団体)

阪南産業株式会社 環境経営システム組織図



(環境負荷の実績・環境目標とその実績)

□ 主な環境負荷の実績 (全社)

項目	単位	2013年	2014年	2015年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	1,270,134	1,459,244	1,390,086
廃棄物排出量	トン/年	187	103	0.67
一般廃棄物	トン/年	0.67	0.67	0.67
産業廃棄物	トン/年	187	103	0.67
水道水の使用量	m ³ /年	12,293	14,747	11,353
※総排水量	m ³ /年	2,417	2,949	2,271

※1 購入電力の二酸化炭素排出係数は、2014年度から 0.522 kg-CO₂/kWh を使用しています。

※2 総排水量は水使用量の20%値として運用。(散水による蒸発及び製品に含まれて出荷のため)

※3 第1工場のみ稼働率が少なく負荷が小さいため含んでいない。(2013年度より含んでいる)

□ 工場別

※2013年度より、活動計画の変更に伴い二酸化炭素排出量は、電力・軽油使用量分の合計値とする。[事務所のガソリン・工場別全部のLPGを含まない]

事務所

項目	単位	2013年	2014年	2015年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年 (係数変更後)	142,001	107,398	116,040
電力使用量	kwh/年	21,986	21,818	24,256
※1、トラックの化石燃料使用量	L/年	50,641	36,584	39,392
廃棄物排出量	トン/年	0.6	0.6	0.6
一般廃棄物	トン/年	0.6	0.6	0.6
産業廃棄物	トン/年	0	0	0
※総排水量	m ³ /年	129	119	104

※1、2012年度までは営業車も含む。現在、すべてハイブリッド車に変更済。

第2工場 (木くず良品) 平成27年度生産量 34,859t

項目	単位	2013年	2014年	2015年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年 (係数変更後)	385,965	464,199	442,507
電力使用量	kwh/年	606,084	606,028	585,407
廃棄物排出量	トン/年	0.25	0.25	0.25
一般廃棄物	トン/年	0.05	0.05	0.05
産業廃棄物	トン/年	0.2	0.2	0.2
※総排水量	m ³ /年	723	838	709

第3工場 (木くず) 平成27年度生産量 48,110t

項目	単位	2013年	2014年	2015年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年 (係数変更後)	667,518	792,169	735,458
電力使用量	kwh/年	1,131,302	1,146,477	1,056,287
廃棄物排出量	トン/年	187	103	0.016
一般廃棄物	トン/年	0.016	0.016	0.016
産業廃棄物	トン/年	187	103	0
※総排水量	m ³ /年	1,555	1,957	1,424

口環境目標及びその実績
 <全 社>

目標項目	単位	2007年度 (基準年度)	2015年度		達成 状況	2016年 度	2017年 度
		基準値	目標値	実績値		目標値 基準年比	目標値 基準年 比
電力使用量削減 ※係数変更	kg-CO2	939,848	845,864 95%	897,903	×	845,864 90%	845,865 90%
化石燃料使用量削減 (収集運搬車・重機の燃料 消費に伴う軽油)	kg-CO2	531,365	520,738 98%	492,184	○	515,424 97%	510,110 96%
二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	1,471,213	1,366,602	1,390,086	×	1,361,288	1,355,975
一般廃棄物の削減	t	0.6	0.6 95%	0.6	○	0.6 95%	0.6 95%
コピー用紙の削減	t	0.3	0.29 96%	0.29	○	0.29 96%	0.29 96%
受託廃棄物の再資源化率 ほぼ100%の維持	%	100	99.9	99.9	○	99.9	99.9
水使用量の削減	m ³	8,938 (2012年度変更)→	9,653 108%	11,353	×	9,653 108%	9,653 108%
環境配慮商品の販売促進	千円	5,410	9,738 170%	5,522	○	10,279 190%	10,279 190%
トラック燃費平均値 今期より(実績値)	km/L	4t車 ダンプ(3台平均) 4t車 平ボディ(3台平均) 6t車 平ボディ 8t車 平ボディ	4.4 4.9 3.6 3.3	4.50 4.93 4.29 3.44	○ ○ ○ ○	4.4 4.9 3.6 3.3	4.4 4.9 3.6 3.3

※二酸化炭素排出係数：0.522 kg-CO2/kWh を使用して、基準値及び目標値を再計算しています。

※電気及び水については、2015年度から原単位目標を設定

太陽光発電所にて発電した電力実績
 淡路発電所

売却電力 319,496kwh(166,777kg-CO2)

弊社排出の二酸化炭素量の 11.99%に相当する。

(関西電力発表値使
 用で計算)

□環境目標及びその実績

<各事業所別>

目標項目	2015年度 全社の目標値	2015年度 事業所別		2015年度 事業所別	達成 状況
		事業所名	目標値	実績値	
電力使用量削減	kwh	本社	25,916	23,156	○
		2工場	563,432	585,407	×
		3工場	1,105,486	1,056,287	○
軽油(重機・トラック) 使用量削減	ℓ	本社	52,238	39,392	○
		2工場	42,192	52,175	×
		3工場	64,888	70,142	×
一般廃棄物削減	0.6 t	本社	0.6	0.6	○
コピー用紙の削減	0.29 t	本社	0.29	0.29	○
受託廃棄物の 再資源化率 ほぼ100%の維持	99.9%	2工場	99.9%	99.9	○
		3工場	99.9%	99.9	○
水使用量の削減	m ³	本社	609	521	○
		2工場	3,551	3,546	○
		3工場	5,518	7,121	×
環境配慮商品の 販売促進	千円	本社	9,738	5,532	×

“※ このページ(各事業所別)の欄の目標値につきましては各事業所別で設定した削減目標率に対しての数値を記入しております。”

□ 本年度の環境目標・活動計画と評価

取り組み項目	達成状況	評価 (結果と今後の方向)
電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減 ・節電運動展開 ・不要照明の消灯 ・クールビズ・ウォームビズ運動 ・冷房 28℃ 暖房 20℃	目標：1,620,428kwh (2007年度比 △10%) 実績：1,720,120kwh (目標比+6%)	目標未達成 高い目標数値を敢えて掲げており、使わないコンベアーの停止などの提案事項について動きはしているが、稼働時間の長さ等で未達成となった。
収集運搬車・重機の燃料消費に伴う二酸化炭素の削減 ・アイドリングストップ ・急発進、急停車の防止 ・冷暖房の控えめ使用 ・燃費のよい車の購入(更新時)	目標：172,063L (2007年度比△2%) 実績：172,196L (目標比+0.1%)	目標未達成 工場での重機の使用量が稼働時間の長さで増えた事により未達成となった。エコ運転活動を継続する。
一般廃棄物の削減 (紙のみ) ・裏紙使用 ・ミスコピーの防止 ・分別による古紙のリサイクル化 ・帳簿見直しによる印刷物の削減	目標：516kg (2007年度比 △15%) 実績：516kg (目標±0)	目標達成 継続する 分別後の紙とプラの有価物販売開始。
コピー用紙の削減 ・FAX をパソコンと連動して無駄をなくす	目標：288kg (2007年度比△4%) 実績：288kg (目標±0)	目標達成 裏紙使用后、有価物販売にも取り組みしている。
水道水の使用量削減 ・節水呼びかけ ・節水弁取り付け ・自動水栓取り付け ・雨水利用による植木の水やり	目標：9,653 m ³ (2007年度比 108%) 実績：11,353 m ³ (目標比 +18%)	目標未達成 第3工場で漏水が発見された。修理後は目標通り程度の数値に戻っている。
環境配慮製品の販売促進 ・新規顧客の拡大 (ホームページ) ・チラシ配布 ・環境配慮製品 (古木) の販売促進	目標：9,738 千円 (2007年度 180%up) 実績：5,532 千円 (目標比 △43%)	目標未達成 売上げ自体は落ちているが、実質的な古木の販売は昨年並み 環境保全に役立ち寄与したい。 “もったいない”の観点から、古(イニシエ)からの贈り物を残したい。
グリーン購入の促進	目標：1項目以上の追加 実績：重機類の入替え等	目標達成 重機の入替え1通り終了 物品購入する際にエコマーク等確認。

□ 環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

法規名	該当する項目	順守評価
廃棄物処理法	・処分業の許可 ・排出事業者との契約 ・マニフェストの処理 ・帳簿の備え付けと保存 ・事故時の措置 ・収集運搬業の許可 ・収集運搬基準 ・保管基準 ・技術管理者	○
消防法	・指定可燃物の届出 ・消火器の管理	○
騒音・振動規制法	指定地域ではない為、適用外	○
PCB 廃棄物特別措置法	・保管状況等の届出	○
電気事業法	・電気保安協会等・受変電設備の保守・保安	○
自動車 NOx・PM 法 大阪府生活環境の保全等に関する条例	・車種規制 ・大阪府流入車規制（ステッカー）	○
自動車リサイクル法	リサイクル料金の支払	○
道路 3 法（道路法・道路運送車両法・道路交通法）	・保安基準・車両制限・積載規定	○
下水道法	・排水量、水質変更する場合の届出	○
家電リサイクル法	・リサイクル料金の支払い（廃棄時）	○
フロン排出抑制法	・廃棄時の適正処分 ・エアコン修理、整備時のフロン回収の義務 四半期に一度の簡易点検	○

環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去 3 年間ありません。

【代表者の見直し結果と評価】

昨年度は、前期は入荷が好調だった事もあり、電気と水の使用量が目標オーバーしました。水に関しては 3 工場で漏水も発見されました。防塵対策の水の使用と重なった事もあり、発見が遅れてしまいましたが、夜間の水道メーターCKのルールも作成して改善に努めております。漏水個所の修理後は、目標値を達成した数値で推移しております。

原単位での電気・水の生産効率についても、漏水していた月以外では概ね前年度を上回っており、従業員の意識も高くなっている事を実感しております。

新規事業の太陽光発電による売電事業も 2015 年 11 月より第 2 弾がスタートしており、2016 年 3 月よりはメガソーラーもスタートする予定です。3 基すべて稼働すれば、弊社の電力使用量とほぼ同等の発電量が見込まれており、自然エネルギー利用による社会的な CO₂ 削減に貢献していきたいと考えております。

以上

以上